

二国間クレジット制度を活用した

タイ国バンコク港のスマートポートプロジェクトの実施について

別紙のとおり、横浜港埠頭株式会社は、環境省「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」を活用したタイ国バンコク港のスマートポートプロジェクトの実施に向け、バンコクにてタイ港湾庁および株式会社グリーン・パシフィックと国際コンソーシアム協定書の調印式を行いましたので、情報提供いたします。

添付資料 記者発表資料（平成 31 年 1 月 29 日）

【横浜市とタイ港湾庁とのパートナーシップ連携について】

横浜市は、タイ港湾庁※1（Port Authority of Thailand, PAT）との間で平成 26 年 4 月に横浜港およびタイ国内の諸港の発展に有益な関係構築をめざす、パートナーシップに関する覚書を締結しました。双方にメリットのある具体的な取組を目的とし、特定の分野において、随時効果を測りながら期間を設けた協力体制を構築するもので、特に貨物量増加のための協力取り付けや技術的情報交換に重点を置き、分野を絞って取組を進めています。

※1 タイ王国の主要港であるレムチャバン港、バンコク港及び地方港を管轄している機関。運輸省管轄の組織であり、かつ港湾管理者であるとともにターミナル運営者でもあります。

お問合せ先		
港湾局賑わい振興課担当課長	蝦名 隆元	Tel 045-671-2885



二国間クレジット制度を活用した タイ国バンコク港スマートポートプロジェクト協定書の締結を行いました

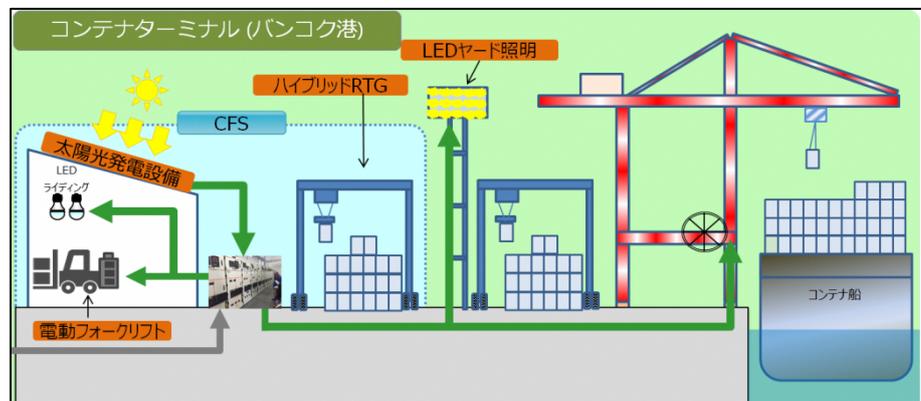
横浜港埠頭株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：櫻井文男）は、環境省「二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」を活用したタイ国バンコク港のスマートポートプロジェクトの実施に向け、関口在タイ日本国大使館公使の立ち会いのもと、バンコクにてタイ港湾庁および株式会社グリーン・パシフィックと国際コンソーシアム協定書の締結を行いました。



(写真：調印式の様子)

1. 本プロジェクトの概要

本プロジェクトは、タイ港湾庁と横浜市とのパートナーシップ連携の下、タイ港湾庁が横浜港埠頭株式会社および株式会社グリーンパシフィックと共同で、二国間クレジット制度（JCM：Joint Crediting Mechanism）^(注)を活用した環境にやさしい設備をバンコク港に導入し、同港全体での低炭素、低コストかつ安定的なエネルギーシステムの構築を進めるものです。港湾用荷役機械（ハイブリッド RTG（クレーン）や電動フォークリフト）、LEDヤード照明、太陽光発電設備の導入を予定しており、年間約 5,400 トンの CO₂ を削減できる見込みです。



(プロジェクトイメージ図)

(裏面あり)

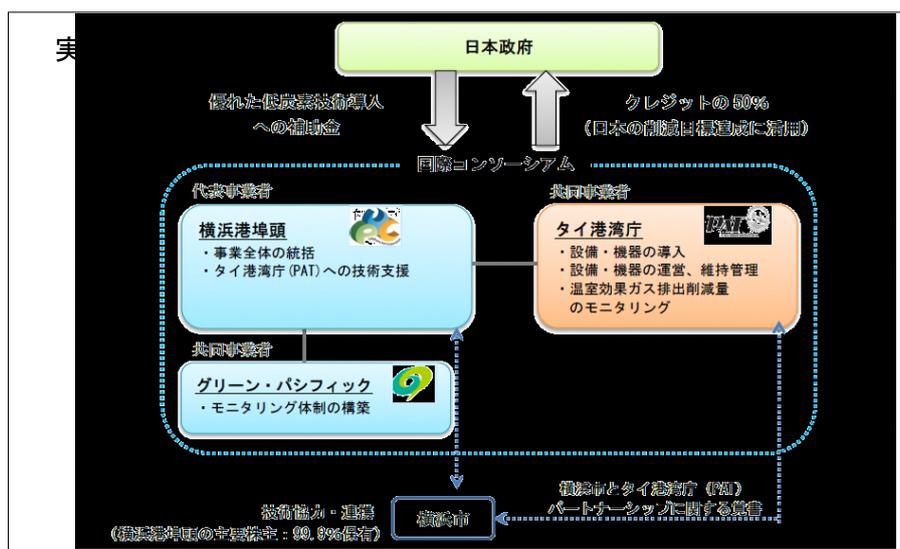
2. 国際コンソーシアムの概要

この国際コンソーシアムは、本プロジェクトを共同で円滑に実施することを目的として、横浜港埠頭株式会社 (YPC)、タイ港湾庁 (PAT) および株式会社グリーン・パシフィック (GP) の三者で結成するものです。

YPC は、代表事業者として、横浜港での環境に関する取組実績をもとに PAT への技術支援を行うとともに、事業全体の統括等を行います。

PAT は、タイ国の現地事業者として、設備の導入・維持管理および温室効果ガス削減効果のモニタリング等を実施します。

GP は、地球温暖化対策等を専門とする環境コンサルティング会社として、モニタリング体制の構築をはじめ事業推進を幅広くサポートします。



(注) JCM とは

二国間クレジット制度 (Joint Crediting Mechanism) の略。我が国による、途上国への優れた低炭素技術・製品・システム・サービス・インフラ等の普及や緩和活動の実施を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への我が国の貢献を定量的に評価し、我が国の削減目標の達成に活用するもの。

(参考) 調印式について

開催日 平成 31 年 1 月 29 日

場 所 タイ王国バンコク都 タイ港湾庁本部

調印者 横浜港埠頭株式会社 代表取締役社長 櫻井 文男 (代表事業者)

タイ港湾庁 長官代理 Montree Lergchumniel

株式会社グリーン・パシフィック 代表取締役社長 山田 和人

来 賓 在タイ日本国大使館 経済公使 関口 昇

※敬称略

(お問い合わせ先)

横浜港埠頭株式会社 技術部 技術企画課 尾崎・土師 (はじ) Tel 045-671-7293